

宮城県林業普及活動情報

2024. 1月号 No. 188

もくじ

各地の林業普及活動情報

P 2 ~ 8

- 「森林経営管理制度に係る大河原圏域推進会議」を開催 (大河原地方振興事務所)
- 林業関係の補助事業で導入した施設等の経営管理指導 (仙台地方振興事務所)
- 公共建築物への木材利用拡大に向けた打合せを実施 (仙台地方振興事務所)
- 冬期間のハタケシメジ栽培指導 (北部地方振興事務所)
- きのこの安定生産に向けた現地指導 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 「くりはら de 苔アート展2024」の開催 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 管内木工製品の販売促進支援 (東部地方振興事務所)
- 森林経営管理制度の伴走支援 (東部地方振興事務所)
- 全国育樹祭実行委員会事務局表示板製作支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 気仙沼・本吉圏域の食材視察 (気仙沼地方振興事務所)
- 令和5年度森林整備関係補助事業に関する研修会の開催 (気仙沼地方振興事務所)
- 林業普及指導推進会議の開催 (林業技術総合センター)

「森林経営管理制度に係る大河原圏域推進会議」を開催

大河原地方振興事務所

【22日(月)】

森林経営管理制度や森林環境譲与税を活用した森林整備の推進に向けて、管内市町の担当課長等を参集し、大河原圏域推進会議を開催しました。

県内の先進的な取組や管内で取り組んでいる伴走型支援の状況について当所及び市町村森林経営管理サポートセンターから説明を行うとともに、各市町から取組状況や計画について報告を受けました。また、今後の取組を推進するため、各市町で挙げられた課題等について、意見交換を行いました。

各市町の進捗状況や方針についての情報共有が図られたほか、それぞれが抱える悩みや疑問等に対する意見交換を行ったことを踏まえ、今後の取組方針や支援方法についての検討を進めるとともに、引き続き、各市町の進捗状況を確認しながら、経営管理制度実施の推進に向けて支援してまいります。



【会議の様子】

林業関係の補助事業で導入した施設等の経営管理指導

仙台地方振興事務所

【11日(木), 12日(金), 16日(火), 17日(水)】

県では毎年、林業・木材産業関係事業に係る補助事業を活用した施設について、稼働状況などの調査をしながら経営管理指導を行っています。

今年も、木造施設2施設と、林業機械4施設を訪問し施設管理者から説明を受けました。

木造施設2施設については、「木の温かみがあり、来場者が喜んでいる。来館者目標数達成に向けて、多くの人が集まる場所として魅力を発信していく。」といった意見が聞かれたほか、林業機械4施設については「ウッドショックなどの世界情勢により、木材消費量に大きく影響を受けている。」といった状況を伺いました。

今回寄せられた意見を踏まえながら、導入した施設が適切に使われるよう継続的に支援してまいります。



【補助事業で導入した製材機械】

公共建築物への木材利用拡大に向けた打合せを実施

仙台地方振興事務所

【25日(木)】

管内市町村職員を対象に、公共建築物の木材利用拡大を図ることを目的として、木材利用促進の背景や意義、実際の取組方法について説明を行うとともに、率直な意見交換を行いました。

普段木材に関わることが少なく、もっと分かる研修の機会を作してほしいという意見が寄せられたほか、ライフサイクルコストを含めたコスト比較ではRC造との比較が必要な場面があり、コスト比較のルールが欲しいと言った意見も出されたところです。

今回寄せられた意見をもとに、来年度以降も継続して木材利用に向けた勉強会等の取組を続けて行くこととしております。



【県内の木造施設事例も含め説明しました】

冬期間のハタケシメジ栽培指導

北部地方振興事務所

【12日(金)】

県は、冬期間のきのこ生産を可能とする温床キットを用いたハタケシメジ栽培の技術指導をしています。

大崎市岩出山地区で2名の生産者が試験栽培を実施していることから、伏せ込み後の発生状況を確認しました。

生長の状況は、菌床の端部ほど良く、中にはエリンギのように大きく生長したものもありました。また、菌床が全体的に乾燥気味であったため、不織布に水滴がつかない程度の散水を実施するよう指導し、散水作業を行いました。

今後も生長状況を定期的に観察しながら、必要な技術指導を継続してまいります。



【生育状況の確認】



【端部ほど生長が良い】

きのこの安定生産に向けた現地指導

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【26日(金)】

きのこ生産者から菌床に雑菌(カビ)混入が目立ち始めたとの相談を受けたことから、林業技術総合センターの協力を得て、現場において雑菌混入の原因を探りながら、改善策等について現地指導を行いました。雑菌混入は、殺菌、放冷、接種の段階で発生することから、各工程における菌床培地を寒天培地を用いた培養とし、どの工程で雑菌が混入しているか、原因を探るよう指導を行いました。また、放冷と接種作業において、外気と触れないような環境づくりやアルコール等による室内の清掃を徹底するよう指導しました。

今後も、雑菌混入が収束しないようならば、適宜相談に応じることとしました。



【現地指導の様子】

「くりはら de 苔アート展2024」の開催

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【13日(日)～3月24日(日)】

苔の産地化を目指している「くりはらの苔」の魅力を発信し、苔の美しさ・たくましさを意識する空間の提供と苔文化の定着を図るため、「くりはら de 苔アート展2024」を開催しました。

「くりはらの苔」においては、「産地化」に加え、「苔の聖地化」も新たな方向性として位置づけたことから、「苔ファンの裾野を広げよう」、「枝葉まで浸透させよう」として開催期間、作製教室、参加定員とも昨年の約3倍に拡大しました。

そのうち28日に開催した「苔テラリウム作製教室」では、講師に仙台市青葉区の苔テラリウムショップの店長をお迎えし、花山草木沢地区の苔を使ったグレードの高い苔テラリウム作製を指導いただきました。また、会場の展示ブースには、昨年8月に開催された「杜のコケリウムコンテスト」の入賞作品の写真展示、一般公募作品を含め約70点を集めた「苔テラリウム」作品の展示、栗原市のマスコットキャラクター「ねじりほんによ」を苔を使い作製した苔オブジェ「苔りほんによ」の展示に加え、地元の写真クラブの協力による「苔だけの写真展」の開催も予定しており、「苔の聖地化」に向けたアクションを起こすことができました。

なお、「くりはらの苔」においては、本年



【会場では「苔りほんによ」がお出迎えします】



【苔テラリウムは、2つのブースに分けて展示しています】

6月に富士山麓で開催される「苔祭り in 樹海」への出展も決定しており、苔ネットワークを足がかりとして「産地化」と「聖地化」を同時に進めていくこととしています。

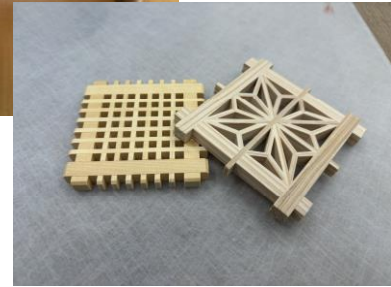
管内木工製品の販売促進支援

東部地方振興事務所

【23日(火)ほか】

地域の木工製品の普及を目的に、県石巻合同庁舎内職員への斡旋販売を企画・実施しました（管内の木工6事業者の文具・食器など12アイテムのカタログを作成し、受注に結びつけるもの）。

注文を取りまとめた結果、合計で約80点ほどになり、潜在的な木工製品のニーズを把握することができました。今後は、購入者へのアンケートにより購入した感想や、新たな要望などを確認し、魅力的な製品づくりの支援などを検討する予定です。



【木工製品の例】

左：ペットフードスタンド

右：組子細工の鍋敷

森林経営管理制度の伴走支援

東部地方振興事務所

【26日(金)】

森林経営管理権集積計画策定に係る伴走支援の対象である女川町の担当者とともに、GNSS（衛星測位システム）受信機を用いた該当箇所特定の演習を行いました。

受信機には林小班の位置データを事前に取り込んだ上で、ナビ機能により現地を踏査した結果、所有界（地番界）をモニターで確認することができ、現地特定のツールとして十分機能が発揮できるものと判断され、実際踏査での活用に期待が持てるとともに林業のDXの必要性を理解できました。



【現地踏査の状況】

全国育樹祭実行委員会事務局表示板製作支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【25日(木)】

令和7年に本県で開催される全国育樹祭実行委員会事務局の表示板を米川小学校5、6年生19名(緑の少年団)が製作しました。

育樹祭の目的や内容について説明した後、表示板の材料となった広葉樹に関して樹種や特徴、材の利用方法などの講話を行いました。熱心に楽しい雰囲気で見板を完成させることができました。

木の温もりに触れながら、個性が光る文字や絵がたくさん詰まった表示板を製作することができました。



【木の輪切りに文字や絵を描き、組み合わせて看板を作りました】

気仙沼・本吉圏域の食材視察

気仙沼地方振興事務所

【29日(月), 30日(火)】

仙台市内のホテルにあるレストランから、気仙沼食材を活用したイベント開催に関する企画提案があり、イベントで用いる食材の候補となる気仙沼市産メンマと、南三陸町産原木しいたけについて、生産現場の視察や生産者との意見交換を行いました。

気仙沼市産メンマについては、現在商品化に向けて取り組んでいる途中の段階であることから、今後の展望について、販売体制やブランド化に関する意見交換が行われました。

また、南三陸町産原木しいたけについては、管内で長年栽培に取り組んでいる生産者を訪問し、現場でしいたけが生産されている様子や、生産者が出荷しているジャンボしいたけを確認してもらい、大型で質のよいしいたけであると高評価が得られ、生産者の励みとなりました。



【原木しいたけ生産現場視察】



【参考：ジャンボしいたけ】





【気仙沼市産メンマ視察】

令和5年度森林整備関係補助事業に関する研修会の開催

気仙沼地方振興事務所

【24日(水)】

当管内では、近年、補助事業を新たに活用する事業者の増加や補助制度の改正等により、補助事業を実施する上で、補助要件の錯誤や、補助申請書類の作成で不十分であるものが多く見受けられている状態にあることから、森林整備関係補助事業に関する研修会を開催しました。

研修会には、管内の森林組合及び民間林業事業者から14名の方にご参加いただき、補助要件や事務処理について理解を深めていただくことができました。また、主伐・再造林、森林施業の集約化及び森林病虫害対策等について意見交換を併せて実施し、多くのご意見をいただき、有意義な意見交換となりました。

今後も様々な研修会を開催し、管内の森林整備の推進に繋がるよう、事業者の皆様と連携してまいります。



【研修会開催状況】

林業普及指導推進会議の開催

林業技術総合センター

【19日(金)】

当所において、県庁の普及担当者と7つの普及指導区の地区総括林業普及指導員が参集し、標記会議が開催されました。

会議では、指導区における普及員の活動と森林環境譲与税の実施状況が報告されました。また、みんなが笑顔になれる林業を目指して創設された「みやぎ森林・林業未来創造カレッジ」の研修実績と計画並びに令和6年度普及指導事業計画について検討が行われました。

引続き、国土・環境・経済の基盤を守る林業の推進に努めます。



【打合の状況】